



しいのみつうしん

第 54号 2012年1月

おかげさまで 10周年を迎えることができました

=引き続き、地域住民の皆様の命と健康を守り、無差別・平等の医療・福祉の実現のために岐阜民医連の仲間と共に、奮闘してまいります

岐阜民医連の医薬分業の方針を受け、調剤薬局事業を展開するため、2001年5月に有限会社ファルマネットぎふが設立されました。

まず初めに、2001年10月に関市のこがねだ診療所の近接に「しいのみ薬局」を、その後2002年4月にみどり病院、すこやか診療所の近接にしいのみセンター薬局を開局し、スタートしました。

岐阜民医連に所属する薬剤師にとっても調剤薬局の展開は、はじめての経験であるため開局に向けて「しいのみ薬局」の管理薬剤師予定者が、民医連の仲間である石川県の「菜の花薬局」へ短期の研修に行ったりと、文字通りゼロからのスタートでした。

また、開局にあたり、在宅で療養されている患者さんへお薬をお届けし安心して療養生活が



できる手助けができるよう、積極的に取り組むことを意思統一しました。じっくりと薬の相談に乗ってもらえ、安心して処方箋が持ってこられる、信頼できる薬局にしようとはりきってのスタートでした。「しいのみ薬局」が順調に滑り出して一息つくまもなく、次は「しいのみセンター薬局」の建設がスタートです。こちらは、「しいのみ薬局」と比べ規模も内容も大きく違いま



す。これまで病院や診療所、しいのみ薬局で経験してきた「紙カルテ」から「電子薬歴」への変更や、新たに在宅での療養の手助けの一環としての無菌剤の開始など新たに取り組むことも増えました。また、安価で安心して服用していただけるよう十数種類の薬局剤の製造販売も開始しました。薬局開設に伴う薬剤師の確保は大変で、その状況は今も続いています。知り合いに薬剤師・薬

学生がいましたら、是非紹介してください。

2003年6月には、華陽しいのみ薬局の開設、さらに2006年8月、南しいのみ薬局を芥見南山に開局し現在に至りました。この間、岐阜民医連の医療機関に受診された患者さんだけでなく、大学病院や県病院、市民病院をはじめ、内科・外科だけでなく小児科・耳鼻科・眼科など毎月100前後の医療機関から処方箋が寄せられます。地域の皆様のかかりつけ薬局としての役割の重要性を改めて認識させられました。また、薬学生のアルバイトも含め100名近い職員がファルマネットぎふの発展に寄与していただきました。



さて、こうしてあわただしく10年が過ぎましたが、この10年岐阜民医連内でも大きな発展がありました。西濃医療生協が設立され大垣に「しずさと診療所」が開所。また、みどり福祉会が設立され、元みどり病院跡地に「ケアハウスささゆり」が開所、さらに2006年には「あんきの家細畑」が開所しました。



こうした反面、医療・福祉など社会保障に関わる改悪が一層進められた10年でした。2001年4月、小泉内閣が発足。2002年4月に診療報酬史上初のマイナス改訂。10月には70歳以上の老人医療費1割負担の実施、2003年には健保本人3割負担実施、2006年には診療報酬・介護報酬・薬価の引き下げ、70歳以上現役並み所得者3割負担に。小泉構造改革の名のもと、毎年2,200億円もの社会保障費削減が実施され、これがその後の諸改悪への道筋となりました。こうした中、国民の怒りが民主党政権を誕生させましたが、今日の野田政権の現状を見ると、消費税増税、年金支給年齢引き上げ、医療費定額負担の導入、武器輸出三原則の緩和などなど、自公政権よりも危険な本質をあらわにしてきました。

私たちはこれからも岐阜民医連の仲間と共に、地域住民の皆様と協力し、安心して住みつけられるまち・地域・国づくりのために尽力したいと思います。

私たちはこれからも岐阜民医連の仲間と共に、地域住民の皆様と協力し、安心して住みつけられるまち・地域・国づくりのために尽力したいと思います。

しいのみ薬局	関市上白金 105-1	☎0575-27-0130	Fax 0575-27-0131
しいのみセンター薬局	岐阜市北山 1-14-27	☎058-241-1818	Fax058-241-1839
華陽しいのみ薬局	岐阜市祈年町 1-19-2	☎058-271-1640	Fax058-275-1949
南しいのみ薬局	岐阜市芥見南山 2-8-47	☎058-244-2112	Fax058-244-2110

お薬や「健康食品」のことなどに関して、Eメール(shiinomi@blue.ocn.ne.jp)によるご相談もお受けしています。お気軽にご相談下さい。ファルマネットぎふ ホームページ(<http://www.pharma-net.co.jp>)